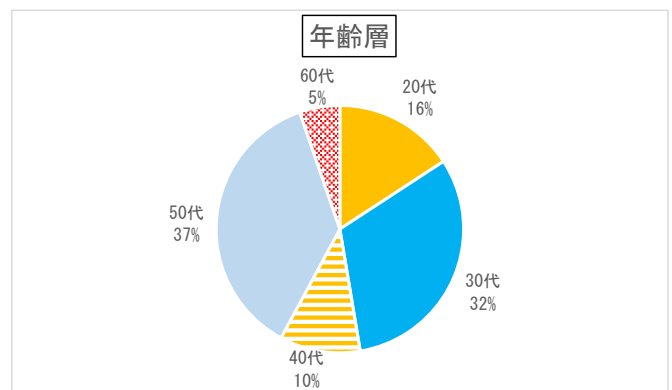
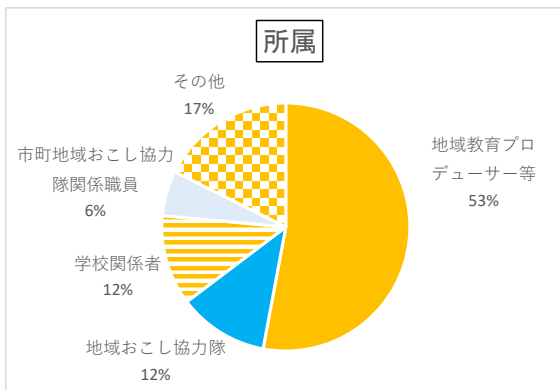
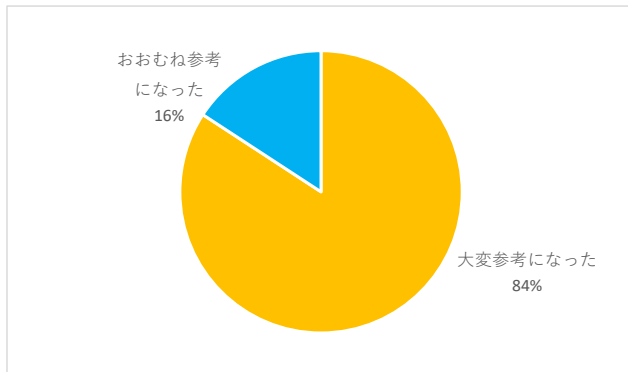


第3回地域教育プロデューサー等ステップアップ研修会及び第3回情報交換会 アンケート結果

○ アンケート回答者19名



Q1 講演会について

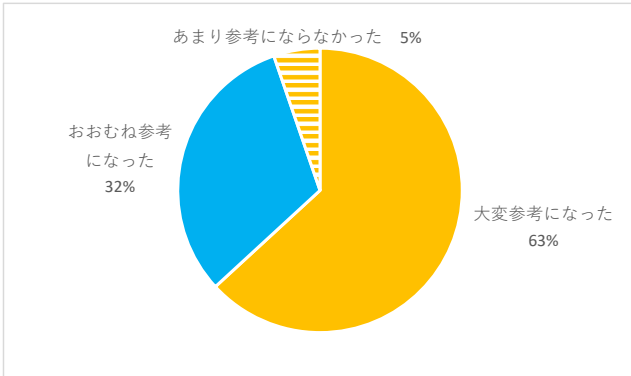


【理由】

- 今後、生徒を支援するうえで、地域の方とのかかわりなど、大変参考になった。
- 西田さんが作られているような、学校の外に生徒が集まれるような場所を、作りたいと思っているので、大変参考になった。
- 地元の人でもなく学校内部の人でもない立場で、地域の子どもたちの人間的成長にかかわり、地域の発展にもつながるイメージを描くことができ、とても参考になった。
- 講演内容がとてもおもしろかった。困難などもあったと思うが、西田さんが楽しそうに話されている姿が印象的だった。
- 探究学習の支援人材の選定の理由や学校外での組織づくりについてよく分かった。
- 3年という限られた時間の中で、地域とつながり、地域の未来を創っていかれる姿に感動した。何事も、いつきのイベントに終わるのではなく、持続可能であることが必要だと感じた。
- 学校内外での活動がとても分かりやすかった。「ひみりべ。」の運営も参考になった。
- 環境でキャラクターは変わるといふのはとても実感しており、どのような環境を作るかをもう少し深く考えていきたいと思った。
- 自分もユースセンターを立ち上げたいと思っていたので、講師の先生の話聞いて大変参考になった。
- 西田さんの講演がとても参考になった。また、参加者とも情報交換ができて、いつもどおりとても参考になる情報が多かった。
- 西田さんの話から気持ちが大切だということが分かった。まず、今取り組んでいる「ごごしまキッズスクール」をもっと充実させる。オンライン講座、ポスター、新聞作りにも取り組みたい。しかし、せまい範囲で行動するのではなく、こちらから問題提起をして行動していかなければならないと強く感じた。松山市の子どもたちのために自分のできることをしていきたい。きっと私を必要としてくれる子どもがいると信じている。
- 地域と学校のかかわり方という点で参考になった。
- 各地域の事例が知れてよかった。どの地域でも熱量が多い方がいて、その方々の話が聞けるのはとてもありがたい。
- 次年度から地域コーディネーターを担当する予定で、学校の中でできること、外側からできることがあるという話がとても参考になった。
- 講師の方や同じグループの先輩方から、地域と良好な関係性を築くアドバイスをいただき、参考になった。
- 社会教育における子どもと大人の関係性について考えさせられた。
- 西田さんが立ち上げた「ひみりべ。」が、カタリバの補助事業を活用していることを知り、とても参考になった。来年度には、実際に訪問して、参考にしたいと思う。
- 学校と地域で行う「まち創り」の具体活動がうかがえ、大変参考になった。
- 西田さんが行っているマルシェなど、集客力あるイベントのヒントが得られた。
- 講演の中で交流の時間をとっていただいたので、同じグループの方と意見交換ができ、新たな発見があり、参考になった。

○ 成果

Q 2 情報交換会について



【理由】

- グループの皆さんから、いろいろなアドバイスや、情報をいただいた。今後の支援に役立てたいと思う。
 - 同じグループの方の役割が子どもたちの学び（探究学習）へのかかわり方だったり、自分たちの置かれた立場の話が多かったりして、砥部分校支援に関しては当てはまらないことが多かったように感じた。興味を持って話を促してくださったので、ありがたかった。
 - 各地域（他市町）の方から情報を得ることができた。このつながりを今後活かしたい。
 - 小、中、高校生の教育支援のスタイルを知ることができ、今後の活動の参考になった。
 - いろいろな方とつながることができた。学校は、学校以外の方の力を借ることで生まれ変わることができると感じた。
 - 講師の方や地域教育プロデューサー等の方の熱い取り組みが聴けて良かった。
 - 自分と同じような環境で同じような考えをしている方と、情報交換できてとても有意義だった。
 - 皆さんの現状や課題等が聞けて良かった。
 - 他の市町の方の行動力に影響を受けた。
 - 自分が担当している業務でお願いしたい方が見つかり、とても有意義な機会をいただいた。
 - 地域と学校をつないでいくという部分が皆さん共通しており、様々な立場からの話を聞けて、とても参考になった。
 - 周囲の自治体でも共通の課題があることを知り、悩みを共有できて良かったです
 - 同じグループの方の、それぞれの活動について知れた。とても参考になった。
 - 教育をミッションとする地域おこし協力隊の悩みや課題を知ることができた。
- △情報交換時間が短かすぎた。

○成果 △課題

Q 3 全体の感想、本事業についての意見、要望等

【理由】

- 地域教育プロデューサー等の熱心な事例が聞けて良かった。
- 様々な立場の方からお話を聞くことができた。
- この会でつながれた方々と連絡を取り、先日は弓削高校へ訪問させていただいた。今後の生徒支援に役立つ情報を、たくさんいただける機会となったこと、本当にありがたかった。
- 地域と学校の間で使命感を持って活動されている方々の存在が分かった。この会を通じて、弓削高校への訪問と寮の見学もさせていただいた。学校への多様なかかわり方があることを知ることができ、とても良かった。
- 最初は、あまりよく分からないまま参加したが、結果的に高校と連携するにあたって、また、役場に活動を理解していただくにあたって、地域教育プロデューサーの肩書きはとても役に立った。また、研修の講師もためになる講演が多くとても勉強になった。
- 来年度からステップアップ研修会がなくなると聞いてめちゃくちゃ寂しい。唯一の教育関係の方々につながる場所だったので残念だ。ここで学んだことを今後の地域教育のために力を尽くしたいと思う。松山市や愛媛県の子どものために尽くしたいと思う。
- 次年度以降も、対面で交流できる場があると嬉しく思う。

Q 4 講師に聞いてみたいこと

【質問・回答】

☆任期を終えられたら、次のビジョンは何ですか。

→（西田さんの回答）まずは今している業務を続ける、ということがひとまずの目標です。

そのために今協力隊で行っている学校の業務を法人として委託を受けることを目指しています。学校での探究サポートで収入を得ながら、それを資金として「ひみりべ。」を助成終了後も続けられるものにしていきたいです。

☆活動を持続的に行っていくうえで重要視していることはありますか。

→（西田さんの回答）現在氷見高校で行っている仕事はかなり属人的になってきていて、雇用形態も私がいなくなったら代わりを用意することができない状態になっています。個人的には昨年結婚し、子育て等も意識していく中でこのような状況は良くないと思っているので、協力隊任期終了後は法人として仕事を受けられるようにしていきたいと考えています。あとはひみりべについては常に人材不足なので、大学の講義でお話をさせていただいたりしています。